

ミニレター

# あぜみち通信

\* \* \* \* \*

令和8年1月1日

301号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

## 新年おめでとうございます

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

はじめに、農業委員、農地利用最適化推進委員並びに農業委員会事務局の皆様におかれましては、農地制度の適正な執行をはじめ、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消など、「農地利用の最適化」の推進に日頃よりご尽力いただいておりますことにつき、深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

さて、我々農業委員会系統組織は、改正農業経営基盤強化促進法に基づく市町村の地域計画について、農業者の意向把握、協議の場への参加、目標地区の作成等に組織を挙げて取り組んでまいりました。

この地域計画は、策定自体を目的とするものではなく、地域内での継続的な話し合いを通じて磨き上げ、その実現を図ることで、各地域の農業のさらなる振興・発展へとつながるものです。関係の皆様方の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

また、昨年4月に策定された新たな食料・農業・農村基本計画の実現に向け、農業の構造転換を集中的に推進しつつ、農業・農村の持続的発展と食料の安定供給の確保に努めていくなかで、愛知県農業会議といたしましても、その一翼を担い、農業者の皆様にも夢と希望を持っていただける農政の確立に向け、その役割と責務を果たしていく所存です。

令和8年を迎え、農業会議は、心新たに、農業に関する動向や情報の提供、農業委員会諸活動への支援などに全力で取り組んでまいりますので、引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様にとりまして本年が実り豊かな一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

一般社団法人 愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

## あけましておめでとうございます

令和8年が、皆様方にとりまして、良き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、皆様方のご期待にお応えできますよう努力を重ねてまいりますので、変わらぬご指導をお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同

## ◎ 常設審議委員会（12月）の審議状況について

12月9日に「桜華会館」において、農地法等に係る諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

12の農業委員会から農地法第4条に基づく転用事案1件、70㎡、同法第5条に基づく転用事案14件、127,400㎡、愛知県から同法第41条に基づく利用権設定事案1件、530㎡について諮問があり、審議の結果、いずれも原案のとおり許可（同法第41条については裁定）して差し支えない旨承認されました。

また、合わせて愛知県から、農業基盤強化促進法第5条第6項に基づき、農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の見直しについて諮問があり、審議の結果、原案のとおり変更することを適当と認める旨承認されました。

（参考1） 諮問農業委員会

一宮市(1件)、小牧市(1件)、日進市(2件)、大口町(1件)、津島市(1件)、半田市(1件)、常滑市(1件)、知多市(1件)、阿久比町(1件)、豊田市(2件)、新城市(1件)、豊川市(2件)

（参考2） 農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針

効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、農業経営の基本的指標や農用地の利用集積の目標等を定め、それを達成するための各種事業の推進方針等を定めるもので、県に策定が義務付けられており、おおむね5年ごとに今後10年間について策定すると法施行令で規定。

## ◎ 東海・近畿・北信越合同稲作経営者研究大会が開催されました

12月1日及び2日に、福井市の「ザ・グランユアーズフクイ（ホテルフジタ福井内）」において、東海・近畿・北信越合同稲作経営者研究大会が兵庫県・岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・富山県企業・新潟県・信州水田・福井県稲作経営者会議主催、全国稲作経営者会議共催で開催され、各稲作経営者会議の会員、関係企業を含む270名が出席し、本県会員は21名参加しました。

大会では、福井県稲作経営者会議会長の開会挨拶に続き、前田福井県農林水産部副部長、植野北陸農政局長の来賓挨拶の後、「農研機構（NARO）農業情報研究センターAI技術を活用した研究事例紹介」と題して農研機構農業情報研究センター AI研究推進室・画像認識ユニット 伊藤淳士氏による基調講演に続き、スマート農業を活用した経営についての事例発表①(株)田んぼの天使 代表取締役井上高宏氏、②(株)島崎農園 取締役 島崎直樹氏、北陸農政局から情報提供として「スマート農業技術活用促進法について」の説明等が行われました。

## ◎ 愛知農業賞表彰式が開催されました

12月10日に、名古屋市中区の「JAあいちビル」において、公益財団法人愛知県農業振興基金（犬飼峰宏理事長）の主催による「令和7年度愛知農業賞（あいちアグリアワード）表彰式」が開催されました。

「愛知農業賞」は、半世紀余り続いた「山崎賞」「岩槻賞」の理念を受け継ぎ、愛知県の農業・農村の振興に尽力され、他の模範となる方々の功績を称え顕彰するもので、平成18年度に設けられ、20回目の節目となる令和7年度は、「担い手育成部門」「農業・農村振興部門」「農業教育・技術者部門」の3部門において表彰されました。

表彰式では、犬飼理事長による主催者挨拶、竹谷裕之（名古屋大学名誉教授）表彰審査

委員長による審査講評に続き、各部門において多大な貢献が認められた次の受賞者に表彰状が授与されました。表彰後には、受賞者による記念講演も行われました。

- ① 担い手育成部門 加藤誠一氏(豊田市)
  - ② 農業・農村振興部門 れんこん産地協議会様(愛西市)
  - ③ 農業教育・技術者部門 藤井 潔 氏(岡崎市)
- 受賞者の皆様、誠におめでとうございます。



左から 加藤氏、れんこん協議会代表、藤井氏

## ◎ 農業感謝祭・農林畜産物品評会表彰式が開催されました

12月19日に、愛知県農業協同組合中央会及び熱田神宮豊年講の共催により、熱田神宮神楽殿において、今年の収穫を神様に感謝する農業感謝祭が行なわれました。

その後、熱田神宮会館において、第73回農林畜産物品評会表彰式並びに第44回熱田神宮農業功労者顕彰式が開催されました。

愛知県農業協同組合中央会会長及び熱田神宮豊年講総代による主催者挨拶、熱田神宮宮司の挨拶の後、第44回熱田神宮農業功労者顕彰状が新城市 森 富夫氏(畜産部門)に贈呈されました。

続く農林畜産物品評会の審査報告の後、特賞2点(農林水産大臣賞・熱田神宮宮司賞)、優秀賞46点(愛知県知事賞、名古屋市長賞等)の受賞者に賞状が授与され、ほか優秀賞等を含め合計311点が受賞されました。

なお、愛知県農業会議会長賞は一宮市 宮島広之氏(自然薯) **(写真)**に贈られました。また、当農業会議常設審議委員 福井直子氏(豊橋市、有限会社みずほ農産代表)は、うるち米を出品され愛知県知事賞を受賞されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。

品評会には、農産・蚕糸575点、園芸1,238点、畜産83点、林産21点の合計1,917点の出品がありました。



## ◎ 国の令和8年度農業委員会関連予算案(12月26日閣議決定)の概要 ( )内は前年度予算額

- 地域計画の実現に向けた支援 526.87億円(一) 【令和7年度補正予算 936.19億円】
- 担い手への農業用機械・施設の導入 40.07億円(19.86億円) 【令和7年度補正予算 122.86億円】
- 農地中間管理機構の機能強化と担い手への農地の集約化の推進 46.44億円(42.76億円) 【令和7年度補正予算 80億円】
- 農業委員会交付金 47.18億円(47.18億円)
- 機構集積支援事業 34.67億円(27.49億円)
- 農地利用最適化推進事業 39.19億円(40.51億円)
- 都道府県農業委員会ネットワーク機構負担金 5.23億円(5.23億円)
- 農地調整費交付金 4,700万円(4,700万円)
- 所有者不明農地対策事業 1.32億円(0.99億円)
- 新規就農者育成総合対策 104.27億円(107.48億円) 【令和7年度補正予算 54.16億円】
- 雇用就農の総合的な推進 28.16億円(30.38億円)
- 女性が変わる未来の農業推進事業 7,200万円(6,000万円)

## 今後の主な行事予定

- 1月14日 常設審議委員会（桜華会館）
- 1月28～29日 全国農業委員会都市農政対策協議会（尼崎市）
- 2月 3日 都道府県農業会議専務理事・事務局長会議（東京・主婦会館）
- 2月 3日 常設審議委員会及び地域協議会会長会議（県三の丸庁舎）
- 2月17日 都道府県農業会議会長会議（東京・主婦会館）
- 3月 4日 理事会及び常設審議委員会（桜華会館）
- 3月19日 全国農業会議所臨時総会（東京・ルポール麹町）
- 3月25日 臨時総会、理事会及び研修会（県三の丸庁舎）
- 6月 2日 令和8年度全国農業委員会会長大会（東京・文京シビックホール）

## 図書のご案内

### ①令和8年度 経営所得安定対策と米政策 1月19日刊行

政策支援を活用して、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みは、米の需要が高まる中で欠かせないものです。

米の需給見通しや作付転換への支援、経営所得安定対策、収入保険制度などの令和8年度の政策支援の仕組みをまとめて紹介して、いち早くお届けするパンフレットです。

コード番号：R07-35 121円



### ②令和7年度版 よくわかる農家の青色申告

青色申告の制度、申告手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から納税までを網羅し、各様式の記入例を交えて詳しく解説した年度版ベストセラー。農家向け手引書の「決定版」です。

コード番号：R07-23 990円



### ③2025年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 森剛一 著

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整地しており、農業簿記の時点として活用できる。収入保険に係る経理処理をはじめ、最新の税制に対応。申告書等の記入例も掲載。

コード番号：R07-25 2,420円



お問い合わせ先：一般社団法人愛知県農業会議（TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399）